

第50回 関東ブロック乳児院協議会

第 50 回関東ブロック 乳児院協議会 実行委員会

〒411-0801 静岡県三島市谷田 2 1 4 0 社会福祉法人 静岡恵明学園内

助成事業の概要

第 50 回記念大会 関東ブロック乳児院会 テーマ
「50 年を振り返る」

開催期日 平成 27 年 6 月 10 日（水）～ 6 月
11 日（木）

関東ブロック乳児院協議会が設立し、半世紀の時間が経過し、乳幼児及びその家族を取り巻く状況は大きく変化した。少子高齢化、子育て支援、子ども第一主義、社会的養護とこれまでの研究協議会のテーマはその時代を象徴している。国際的には、国連のこどもの権利条約に沿う形での家庭養護への移行が叫ばれ、施設養護も家庭的養護の推進に 15 年をかけて努力していく方針が示された。一方、国の経済状況、社会情勢の変化に伴い入所理由も変化し、本年より職員の配置基準の見直しが行われた。本研究協議会は、歴代会長によるシンポジウムを開催し、これまでの半世紀を振り返り、これからの 50 年を見据えて、乳児院としての方向性を見定める機会とした。また、静岡県の乳児院で実施した調査を基に入所児童の状況報告を行った。

最後に、第 50 回の記念大会が防災先進県の静岡県で開催されるため、災害への備えを強化する目的で、静岡県が誇る地震防災センターの視察研修を実施した。

事業の成果

1. シンポジウム「50 年を振り返る乳児院の歩み」

では、関東ブロック乳児院協議会の歴代会長が、①措置制度と最低基準「戦後の児童福祉について」、②児童相談所から見た乳児院「養護相談 50 年の推移」、③乳児院と医療の関わり「故きを温ねて新しきを知り、そして未来へ」、④乳児院の小児科モデルから小児精神科モデルへ、⑤乳児院のこれから、というテーマで、乳児院の業界が歩んできたこれまでの 50 年と、これからの乳児院についての討議を行った。参加者からは、歴史的に見たこれまでの歩みや、今後の方向性についてよく理解できたという感想を貰っている。

2. 講義①「静岡県での乳児院調査の結果から」では、講師の精神科医師山崎知克氏から、静岡県内の 4 つの乳児院で行った愛着形成に関する調査の結果の報告で、家庭での不適切な養育や児童虐待等が乳幼児の発達に及ぼす影響や、乳児院での発達障害を有する乳幼児への支援の必要性等について講義を受け、治療的な養育の必要性だけではなく、乳幼児支援の意識改革が必要であるという感想を貰っている。

3. 講義②「静岡県地震防災センター体験研修」では地震や津波による災害の模擬体験や展示、防災講話を聞いて、参加者が、今しておかなければならない事や、命を守ることにについて真剣に考える機会を与えられた。また、会場を変えての体験型お研修であり、斬新で大変有益だったという意見を貰う。

上記の内容の他、会場や交流会等に関しても大部分の参加者から良い評価を受けている。また、

関東ブロックの西の外れの静岡県で、参加者が 129 名来否や講師を含めると 140 名の記念大会が開催できたことは大成功であったと考えられる。

■ 成果の広報・公表

今回のシンポジウム・講義①・講義②の内容について記録した、「第 50 回関東ブロック乳児院研究協議会報告書」を 150 部作成した。

この報告書は関東ブロック乳児院協議会の加盟の 52 施設や、上部団体の全国乳児福祉協議会の役員や事務局、静岡県、静岡市、浜松市等の後援団体に配布済みである。

また、この記念大会の報告を関東ブロック乳児院協議会の平成 27 年第 4 回運営委員会（平成 28 年 2 月 9 日開催）及び、平成 28 年度総会（平成 28 年 4 月 22 日開催）で行う予定である。

■ 今後の展開

第 51 回関東ブロック乳児院研究協議会が平成 28 年 6 月 9 日（木）～6 月 10 日（金）に開催される予定である。今回の記念大会で学んだ、関東ブロック乳児院協議会が歩んできた 50 年の歴史、その時々時代の背景等も踏まえながら、今後の乳児院の進むべき方向性や、乳幼児支援のあり方等の協議が継続し、さらに発展していくと信じている。

今回の 50 回の記念大会はその為の一区切りであり、歴史的な振り返りと、その記録を残すという大変重要な役割が果たせたと思う。

この重要な機会に、支援をしていただいた日本社会福祉弘済会様には大変感謝しております。

ご協力ありがとうございました。